

令和6年度 広島DPAT養成研修 実施要領

1 目的

県内外における地震、台風等の自然災害や航空機、列車事故等の大規模災害時に、災害支援についての知識と技術を持ち、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う事の出来る専門チーム（広島 DPAT）を育成する。

2 実施主体：広島県（協力：DPAT 事務局及び広島 DPAT 先遣隊）

3 実施日時及び会場

【日時】令和6年9月15日（日）9:00～17:00

【会場】広島県庁 本館6講堂（〒730-8511 広島市中区基町10-52）

4 対象者

「広島 DPAT」を構成する医療機関※の従事者（精神科医師、精神科看護師、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士、臨床心理技術職、薬剤師、事務職員等）、県市関係機関 等

※「広島 DPAT」を構成する医療機関 = 広島 DPAT 派遣に関する協定締結医療機関

5 受講定員：80名程度

医療機関毎に、精神科医師、精神科看護師、ロジスティクス（業務調整員：職種不問）で構成するチーム単位（3名程度）での受講を基本とします（医師を含む1～2名での受講も可）。

6 受講料：無料（会場までの交通費、宿泊費については参加者負担）

7 研修内容

別紙「令和6年度広島 DPAT 養成研修 プログラム（案）」のとおり

8 持参物

(1) Wi-Fi 通信が可能なノート（モバイル）パソコン

インターネットを使用した演習を行う予定のため、Wi-Fi によりインターネットに接続できるノート（モバイル）パソコンを1医療機関につき1台持参してください。（Wi-Fi によるインターネット接続環境は会場に準備する予定ですが、台数に限りがありますので、無線ルーター等が持参可能な場合は持参してください。）

(2) スマートフォン

J-SPEED+アプリを使用した実習を行うため、スマートフォンをお持ちの受講者は、事前に J-SPEED+アプリをインストールの上、持参してください。インストール方法は DPAT 事務局ホームページ (<https://www.dpat.jp/>) の「J-SPEED+システム簡易操作マニュアル」を参照してください。※ J-SPEED+の ID、パスワードは別途お知らせいたします。

(3) 所属する医療機関の EMIS（広域災害救急医療情報システム）の ID、パスワード

(4) 所属、職種等が記載されている DPAT 活動服（ビブス：作成している医療機関のみ）

9 申込方法

医療機関単位で取りまとめ、別紙「令和6年度広島 DPAT 養成研修受講申込書」に記入の上、電子メールにより、令和6年8月9日（金）までに広島県健康福祉局健康危機管理課宛にお申込みください。

10 その他

本研修を受講した方へ修了証を発行します。

令和6年度広島DPAT養成研修プログラム

開始	終了	時間 (分)	内 容	講 師
8:30			受付開始	
9:00	9:10	10	開会・オリエンテーション	
9:10	9:40	30	【講義①】「DPATの役割と活動について」 【ねらい】 —DPATの活動に必要な基礎的な知識を習得する— ⇒ DPATの意義・役割・活動内容・実際の活動報告など、DPAT活動に必要な知識等を習得・確認する。	≪DPAT事務局≫ 島根県立こころの医療センター 病院長補佐 高尾 碧 氏
9:40	9:55	15	【講義②】「広島県の災害時の体制について」 【ねらい】 —広島県における災害時の体制について確認する— ⇒ 災害・危機事案に対する県の対応と災害時の保健医療調整本部の体制等について理解を深める。	広島県健康福祉局 健康危機管理課
9:55	10:25	30	【講義③】「広島DPAT活動について」 【ねらい】 —広島県の災害時のDPAT活動について学ぶ— ⇒ 広島県のこれまでのDPAT活動とDPAT活動の留意点を再確認し、県内・県外派遣それぞれの具体的な動きをイメージする。	≪広島DPAT≫ 賀茂精神医療センター 看護師 古中 大樹 氏 こころホスピタル草津 看護師 渡利 健治 氏
10:25	10:30	5	休憩(5分)	
10:30	10:50	20	【講義④】「災害時のDMAT活動とDPAT等との連携体制」 【ねらい】 —DMAT活動とDPAT等との連携について学ぶ— ⇒ 災害時におけるDMAT活動の実際と災害現場におけるDPAT等の関係機関との連携について理解を深める。	≪日本DMATインストラクター≫ 県立広島病院救命救急センター 看護専門員 石井 龍 氏
10:50	11:15	25	【講義⑤】「災害時のロジスティクス」 【ねらい】 —災害時のロジスティクスの考え方を学ぶ— ⇒ 災害時におけるロジスティクスの考え方や必要性について、必要な知識と技術を習得する。	≪日本DMATインストラクター≫ 広島大学公衆衛生学 田治 明宏 氏
11:15	11:20	5	休憩(5分)	
11:20	12:30	70	【講義⑥】「情報通信及び災害診療記録」 【ねらい】 —講義・演習を通じて情報通信等を学ぶ— ⇒ 災害時における通信機器(EMIS・J-SPEED)や災害診療記録の使用等、必要な知識を習得する。	≪日本DMATインストラクター≫ 広島大学公衆衛生学 田治 明宏 氏
12:30	13:30	60	昼休憩(60分)	
13:30	15:50	140	【演習】「病院支援活動」について 【ねらい】 —演習を通じてDPATの病院支援活動を学ぶ— ⇒ 災害時におけるDPATの病院支援活動について、通信機器の入力や、派遣準備から現場での一連の活動について、演習を通じて理解を深める。	≪DPAT事務局≫ 島根県立こころの医療センター 病院長補佐 高尾 碧 氏 (広島DPAT先遣隊)
15:50	16:00	10	休憩(10分)	
16:00	16:20	20	確認テスト	≪DPAT事務局≫ 島根県立こころの医療センター 病院長補佐 高尾 碧 氏
16:20	16:55	30	テスト解説、講評・振り返り	(広島DPAT先遣隊)
16:55	17:00	5	修了証交付・【閉会】	

※ 講義内容や時間配分等は変更となる場合があります。